

# 高専関連報道記事を活用した 活動情報の獲得と分析

小西 慶和† 藤田 直哉‡ 中島 陽子‡ 本間 宏利‡ 山本 和英\*

† 釧路高専電子情報工学システム工学専攻

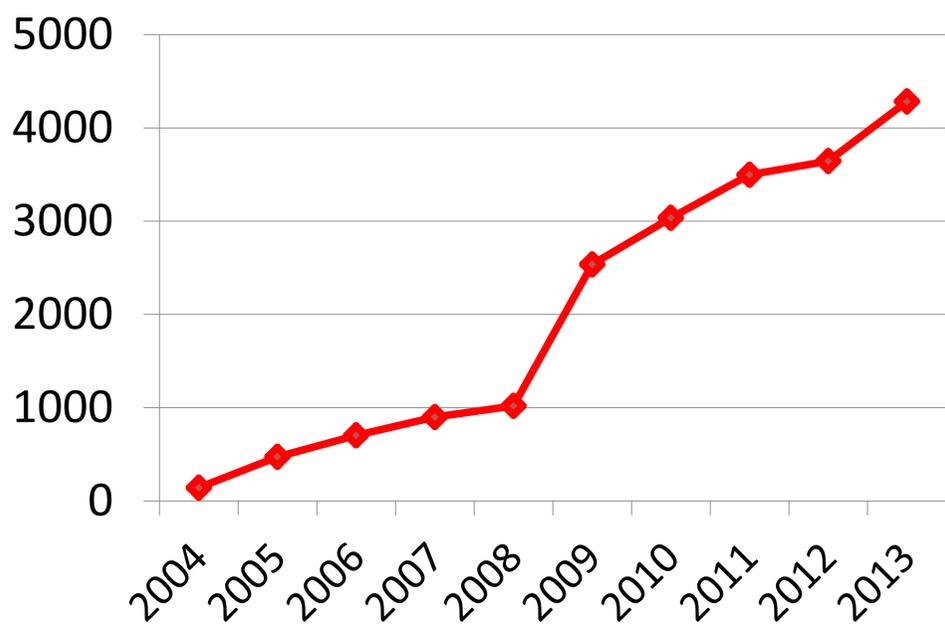
‡ 釧路高専情報工学科

\* 長岡技術科学大学

## 研究背景

国立高等専門学校機構本部は、2004年から各高専の公表記事を高専関連報道記事(報道記事)として、集約化を行った。投稿数も右肩上がりに増加していることが読み取れる。

しかし、報道記事のデータが集約化されていく一方で、データは実際には活用されておらず、現在はデータの活用法が検討されている。



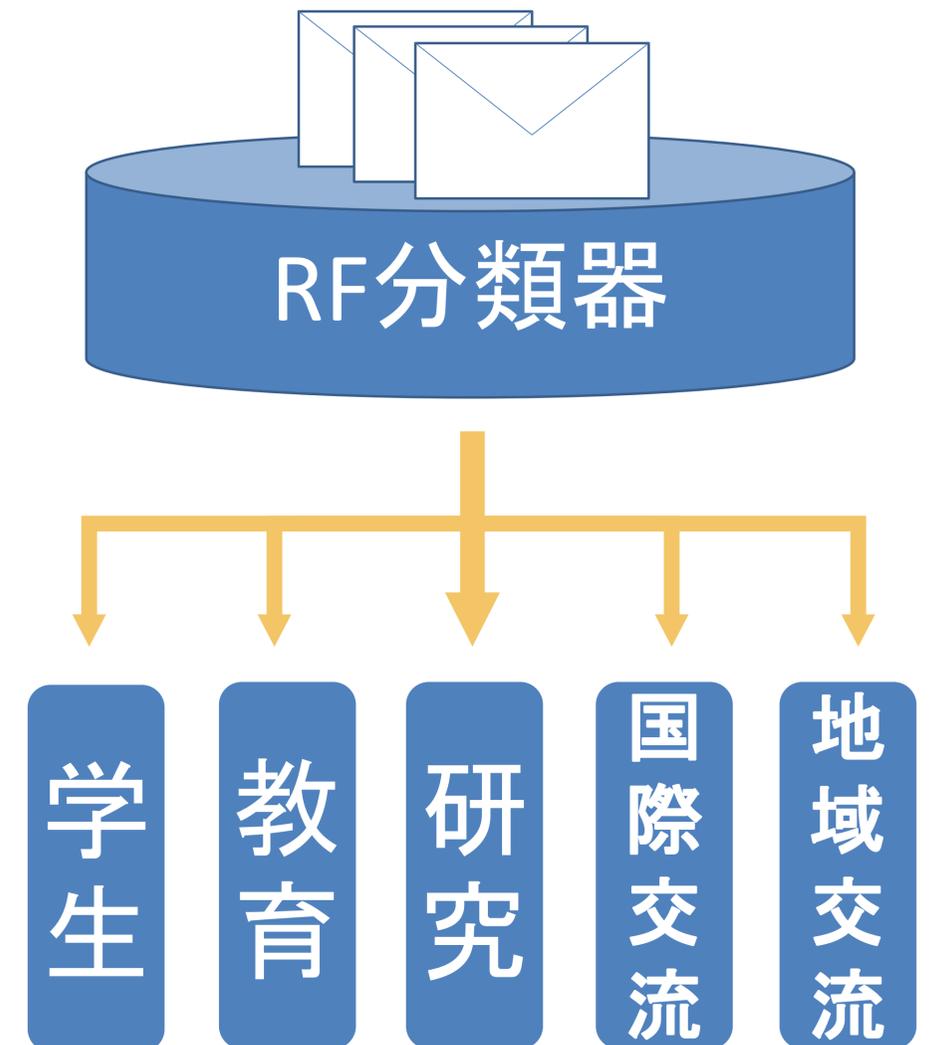
## 研究目的



今後の学校活動指針へフィードバックできるような課題の発見。

## 報道記事の分類

報道記事をランダムフォレスト(RF)法を用いて5つのカテゴリに分類する。

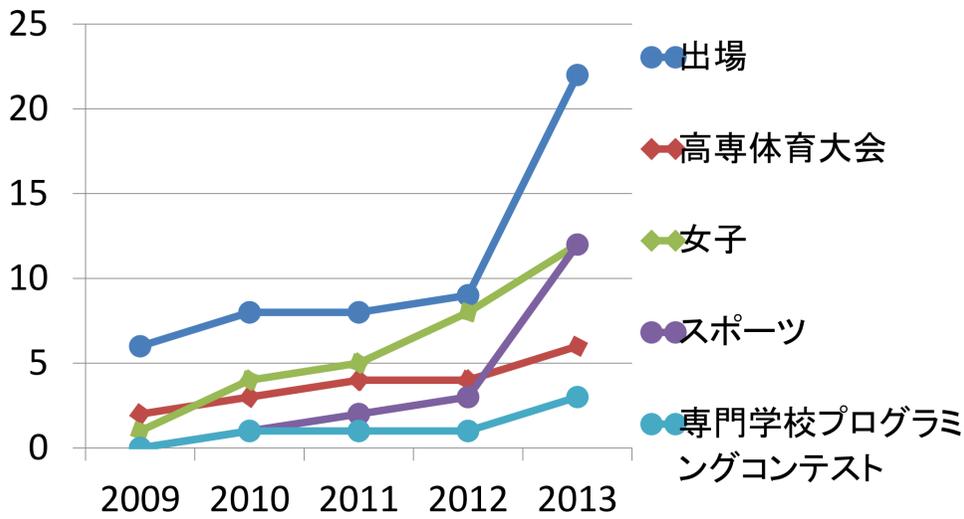


記事カテゴリ	再現率	適合率	F値
学生活動	0.88	0.75	0.81
地域貢献活動	0.69	0.50	0.55
教育活動	0.54	0.82	0.65
研究活動	0.84	0.90	0.87
国際交流活動	1.00	0.43	0.60
その他	0.57	0.87	0.69

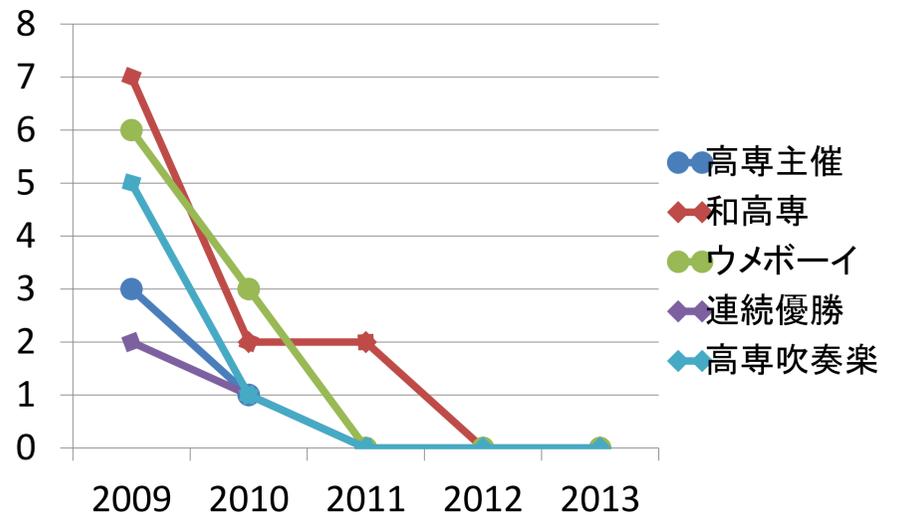
各カテゴリからキーワードを抽出する。名詞が連続しているものをキーワードとし、それらを用いて分析を行う。

# 分析結果

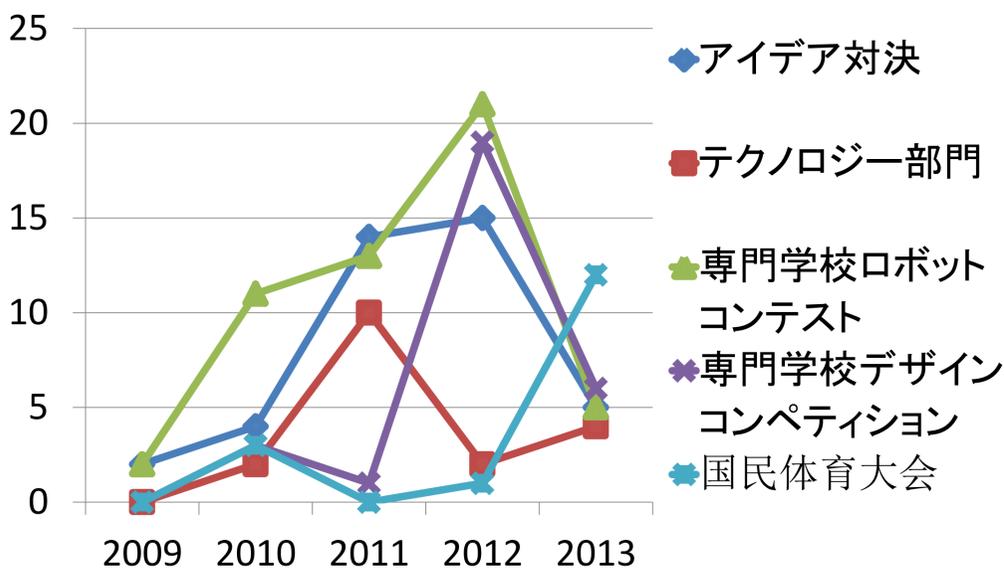
## 増加しているキーワード



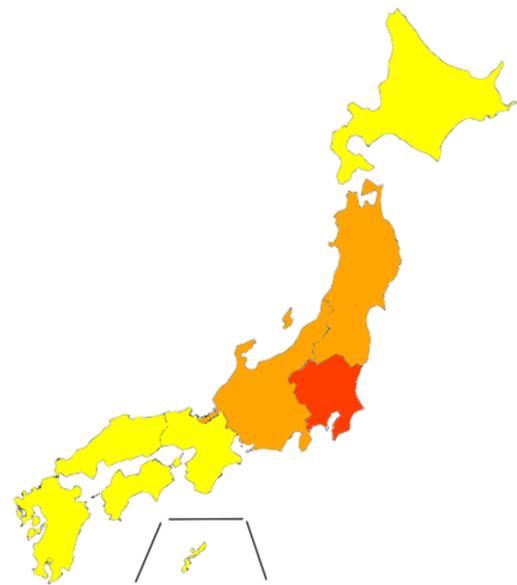
## 減少しているキーワード



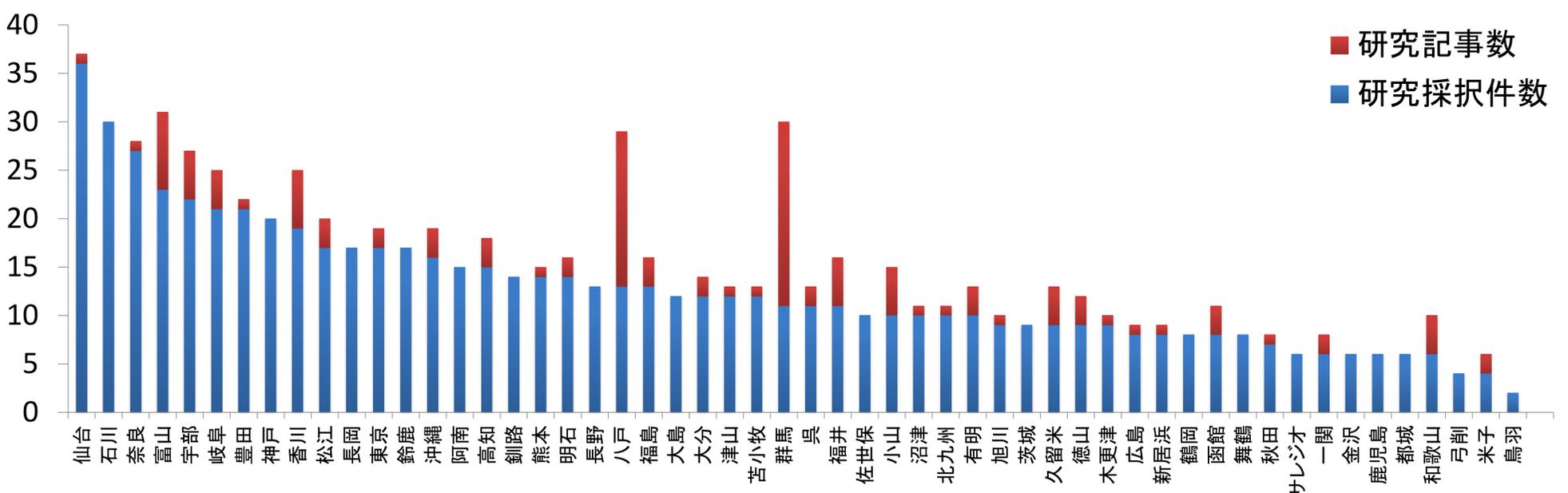
## 差が顕著なキーワード



## 報道記事発信件数



## 研究記事と科研費採択件数との相関



## まとめ

報道記事データを利用して、年度時系列での活動分析を行った。その結果、各カテゴリの活動傾向を把握できることの可能性を示した。しかし、分類精度や記事数の問題から、年度別の流行や傾向などの有益な情報を得ることができていないという課題が残っている。